

文化財活用センターは5周年を迎えました！ 新センター長に大美慶昌が就任、5年間の実績とこれから

“文化財を1000年先、2000年先の未来に伝えるために、すべての人びとが、考え、参加する社会をつくる”というミッションを掲げて2018年に発足した文化財活用センター〈ぶんかつ〉は、2023年で5周年を迎えました。

またこの度、大美慶昌が新センター長に就任しました。節目の年を迎え新体制のもと、“ひとりでも多くの方が文化財に親しむ”ための取り組みを推進してまいります。

新センター長 大美慶昌よりメッセージ



現代社会では、国籍、文化的背景、年齢、性別を問わず、あらゆる文化財にあらゆる人が共通にアクセスし、親しむことのできる機会や場の創出が世界的に求められています。〈ぶんかつ〉は、文化財活用のナショナルセンターとして、これまでの実績を生かしつつ、さらに広い層のニーズに応えるべく、より包摂的な事業を展開していきたいと考えています。

現在は、企画、貸与促進、保存、デジタル資源、総務の5つの分野で、多岐にわたる活動を行なっています。一步一步、活動の幅を広げながら、地域のミュージアムや、さまざまな企業・団体との連携を進めています。

今後も多くの方々に、一層魅力的なかたちで文化財を楽しんでいただけるよう、さらなる努力を続けてまいります。

大美 慶昌（おおみ よしまさ）

日本放送協会（NHK）視聴者総局事業センター長、同松山拠点放送局長等を歴任し、多くの展覧会等の事業に携わる。
（株）NHKプロモーション代表取締役社長を経て、令和5年7月1日より（独）国立文化財機構 文化財活用センター長。

国立文化財機構 文化財活用センター

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館東洋館5階

E-mail : cpcp@nich.go.jp WEB : <https://cpcp.nich.go.jp/>

TEL : 03-5834-2856(直通) FAX : 03-5834-2857

X(Twitter) @cpcp_nich

https://twitter.com/cpcp_nich

Instagram @cpcp_nich

https://www.instagram.com/cpcp_nich/

YouTube @cpcpnich

<https://www.youtube.com/@cpcpnich>



文化財に親しむためのコンテンツ開発・展開

- 文化財に親しむための体験型展示 ……25件 来場者数 **732,690人***
*入場者数をカウントした展示20件の総計
- 複製、デジタルコンテンツ、教育プログラム等の制作 ……95件
- 学校等への教育プログラム提供 ……60件 参加者数 **6,963人**
- 複製、デジタルコンテンツの貸出 ……36件
- 企業との共同プロジェクト推進 …… 6件

国立博物館収蔵品の活用促進

- 国立博物館収蔵品貸与促進事業** ……貸与件数 **450件 (19都府県 27施設)**
来場者数 **229,136人**
**輸送費・保険料・貸与品の展示及び撤収作業費等を〈ぶんかつ〉が支出

文化財の保存に関する相談窓口・人材育成

- 文化財の保存環境に関する相談対応・調査協力 ……**805件**
- 研修・講習会 …… **11回** 参加者数 **252人**

文化財情報データベースの整備

- | | |
|---|--------------------------------------|
| アクセス件数 | ColBaseのデータ拡充 |
| • ColBase 国立博物館所蔵品統合検索システム …… 588,444件 | • 画像追加 …… 22,466件 |
| • e国宝 国立博物館所蔵 国宝・重要文化財 …… 10,845,022件 | • 多言語ページ追加 (英・中・韓) …… 11,916件 |

文化財の保存・活用のためのファンドレイジング

- プロジェクト型ファンドレイジング ……**3件** 総額**38,377,915円**
- 国立文化財機構 寄附ポータルサイトからの寄附金 …… 累計**16,789,000円**

2018

文化財活用センター発足

7月 親子のギャラリー トーハク×びじゅチューン! 「なりきり日本美術館」

(東京国立博物館、7月24日～9月9日) 来場者数: 103,320人

NHKの人気番組とコラボ、複製や映像を使用した参加体験型展示の試み

東京国立博物館との共同により貸与促進事業を実施

文化財の収蔵・展示環境に関する相談窓口を開設

文化財情報データベース「ColBase」「e国宝」を継承

10月 高精細複製品によるあたらしい屏風体験「平家物語 一の谷・屋島

合戦図屏風」(東京国立博物館、10月23日～12月2日) 来場者数: 102,495人

企業と共同研究プロジェクトを締結、先端技術を用いた高精細複製の製作や活用を開始



2019

活動を全国へ

6月 ぶんかつアウトリーチプログラム開始

高精細複製品を活用した出前鑑賞プログラムを全国の学校等へ

7月 「第1回 保存環境調査・管理に関する講習会」(7月31日)

経験豊富な保存担当学芸員向けに、より専門的な知識を学ぶための講座を開始

8月 びじゅチューン! × TAD「なりきり美術館」(富山県美術館、8月10日～10月20日)

2018年に東京国立博物館で開催した「なりきり日本美術館」を全国のミュージアムへ

2020年 〈冬木小袖〉修理プロジェクト開始

1月 東京国立博物館と共同で、重要文化財「小袖 白綾地秋草模様」修理のための寄附募集を開始



2020

withコロナの取り組み

4月 ミュージアム等における新型コロナウイルス感染対策に関する相談窓口を開設

文化庁・東京文化財研究所と共同で、文化財施設や所有者等からの問い合わせに対応

5月 「日本文化紹介映像 A GLIDE ON THE GREAT WAVE」YouTubeで先行公開

東京国立博物館ミュージアムシアターで無料上演する映像を公開、おうちミュージアムの取組

8月 国立文化財機構 寄附ポータルサイトを開設

各施設が実施する寄附事業や会員制度等を掲載、寄附のウェブ決済が可能に



2021

さらに広がる事業



- 4月 貸与促進事業が国立博物館4館との共同事業に
2021年度事業から京都国立博物館、奈良国立博物館、九州国立博物館
収蔵の文化財も対象に
- 5月 文化庁「令和3年度地域ゆかりの文化資産地方展開促進事業（先端技術を活用した
文化資産コンテンツ制作プロジェクト）」を受託
先端技術で制作したコンテンツを各地域のミュージアムで展示、地域の活性化に貢献
- 6月 常設の展示スペース「日本美術のとびら」開室（東京国立博物館、6月22日～）
高精細複製品や非接触型のデジタルコンテンツによるインタラクティブな体験を提供
- 2022年 e国宝がIIIF（トリプルアイエフ）に対応
2月 画像表示の国際標準IIIFに対応、さまざまなビューアでの閲覧が可能に
公開シンポジウム「ミュージアムをめぐるファンドレイジング」（2月10日）
ミュージアムが外部から支援を得て館の活動を継続・発展していくことの意味を考える



2022

成果のあらわれ

- 8月 Nintendo Switch『あつまれ どうぶつの森』に「ぶんかつ島」夢番地を公開
文化財をモチーフにしたエリアを公開、ColBaseを活用した楽しみ方を提案
ColBaseが「デジタルアーカイブジャパン・アワード（DAJ
アワード）」を受賞
（主催：デジタルアーカイブジャパン推進委員会及び実務者検討委員会）
アーカイブのオープン化を先駆けて推進し、社会的影響を与えたと
評価された
- 10月 東京国立博物館創立150年記念 特別企画「未来の博物館」を
開催（東京国立博物館、10月18日～12月11日）
来場者数：150,296人
企業連携等により開発したコンテンツの集大成となる、大規模な体験型展示
- 2023年 常設の展示スペース「デジタル法隆寺宝物館」開室（東京国立博物館、1月31日～）
1月 常時展示がかなわない法隆寺ゆかりの名宝を、デジタルコンテンツや複製で鑑賞できる



2018～2022年度事業報告書など出版・刊行物はこちら▶
https://cpcp.nich.go.jp/modules/r_free_page/index.php?id=73



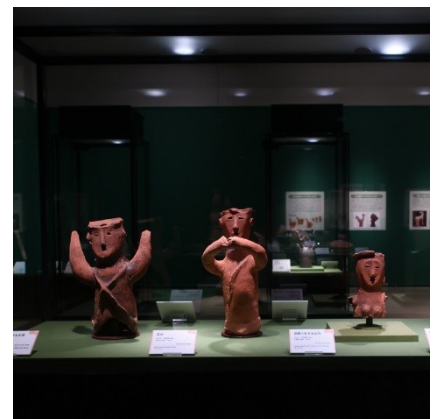
だれもが文化財へアクセスできるしくみづくり

- 多様な社会のすべての人が文化財に親しむことができるよう、地域、年齢、言語、障がいの有無などにかかわらず利用できるコンテンツをつくります。
- 文化財情報データベース（ColBase、e国宝）の整備を進め、これらの活用方法について積極的に発信します。



地域のミュージアムとの連携を強化

- 国立博物館収蔵品貸与促進事業を通じて地域の活性化を図ります。
- 全国の保存担当学芸員等を対象に、参加者の学びの段階に応じた研修を実施し、人材育成に貢献します。



社会とのコミュニケーションを通じて、文化財をもっと身近に

- 市民参加型のファンドレイジングや企業との共同プロジェクトなど、さまざまな社会の担い手とともに文化財を守り伝えるための取り組みを推進します。
- 文化財と人びとを結ぶ新たな支援の枠組みを考え、ミュージアムにおけるファンドレイジングの活性化に寄与します。



2023年度の主な事業予定

企画

文化財に親しむためのコンテンツ開発・展開

- **デジタルコンテンツ「8Kで文化財 ふれる・まわせる名茶碗」* 九州で初公開**
2023年7月11日～9月3日 九州国立博物館 特別展「憧れの東洋陶磁 — 大阪市立東洋陶磁美術館の至宝」会場内で公開。まるで名茶碗を手にとって眺めているかのような鑑賞体験。
*文化庁「令和3年度 地域ゆかりの文化資産地方展開促進事業（先端技術を活用した文化資産コンテンツ制作プロジェクト）」により制作
- **「よみがえった古代のボードゲーム『かりうち』で遊ぼう！」アウトリーチプログラム開始**
奈良文化財研究所と共同で開発し、2023年度から学校等への配布を開始。7月末までに70機関を受付。

貸与促進

国立博物館収蔵品の貸与促進

- **国立博物館収蔵品貸与促進事業を7施設で実施**
2023年10月6日～11月26日 広島県立歴史民俗資料館「三次鶴飼と日本の鶴飼」ほか。
他の展覧会情報はこちら▶https://cpcp.nich.go.jp/modules/r_db/index.php?controller=list&t=db_taiyo
- **貸与作品の充実を図るための文化財修理**
2022～2023年度にかけて、考古資料3件の修理を実施。

保存

研修等による人材育成

- **令和5年度「博物館・美術館等保存担当学芸員研修（基礎コース）」**
夏季・冬季の2回実施（① 2023年7月31日～8月4日、② 2024年1月22日～26日）

デジタル 資源

文化財情報データベースの充実と活用促進

- **ColBase への収蔵品データ追加**
2023年10月に宮内庁から独立行政法人国立文化財機構に移管する三の丸尚蔵館収蔵品をColBase に掲載予定。
- **SNS による文化財情報データベース活用方法の発信**
X(Twitter)・Instagram・ぶんかつブログ等を通じてデータベース掲載画像の活用方法を定期的に発信。

総務

ファンドレイジング事業の推進

- **〈冬木小袖〉修理プロジェクト 修理完成記念お披露目**
寄附により修理が実現した重要文化財「小袖 白綾地秋草模様〈冬木小袖〉」（尾形光琳筆）本格修理完了後の初展示（2023年10月3日～）にあわせ、寄附者向けの内覧会を実施。
- **国立文化財機構各施設のファンドレイジング強化**
「遺贈」をはじめとした多様な寄附の方法について、専門家と連携しつつ制度の充実を図る。